

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所主催  
第5回「言語フィールド調査ワークショップ@宮古島」募集要項

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所(AA研)では、「アジア・アフリカの現代的諸問題の解決に向けた新たな連携研究体制の構築」プロジェクトのなかの言語学系事業「多言語・多文化共生に向けた循環型の言語研究体制の構築」(以下、LingDy3)の活動の一環として、以下の内容で「言語フィールド調査ワークショップ@宮古島」を開催します。

記

1. 開催期間 平成30年12月16日(日)～12月22日(土)
2. プログラム 本ワークショップは、消滅の危機に瀕する少数言語の包括的記録を目的とした言語ドキュメンテーション研究を活性化するために、危機言語の調査・記録研究に関心がありこれから研究テーマとして長期的に携わっていく意志のある大学生、大学院生を対象にフィールド調査の実地研修を行うものです。約1週間にわたるワークショップでは、沖縄県宮古島の池間地域において、主として宮古・池間方言を対象として、話者コミュニティの中で実際に聞き取り調査を行います。具体的活動としては以下を行う予定です：
  - ・話者やコミュニティとの関係構築のストラテジー
  - ・多様な言語資料の収集
  - ・言語資料の処理と整理
  - ・社会的・文化的情報の収集
  - ・コミュニティのニーズに応えるプロジェクトの開発講師:中山俊秀(AA研);大野剛(アルバータ大学)
3. 開催場所 沖縄県宮古島市池間地域
4. 応募資格 これまで言語フィールド調査の経験に乏しい学部生、大学院生の方。言語データ収集・処理・分析の基本スキルは必須(音声書き取り、音素の分析、語や文の構造分析スキルを習得させるような言語学の講義や演習を受講済みであること)です。調査は日本語で行いますので、日本語でのやり取りに支障の無い方。
5. 選考方法 応募者多数の場合は応募フォームの内容による選考をします。

6. 募集人員 6名前後
7. 参加費 受講料は無料ですが、ワークショップ開催地(宮古島)までの旅費およびワークショップ期間の滞在費は自己負担となります。
8. 応募方法 以下のページを参照してください。  
<https://lingdy.aa-ken.jp/activities/training-ws/181216-flws>
9. 応募締切 平成30年10月4日(木)日本時間23:59(必着)
10. 選考決定 受講の可否は、平成30年10月中旬までに本人あてに通知します。
11. 問合せ先 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所  
中山俊秀  
Email: nakayama [at] aa.tufs.ac.jp